

平成 30 年度 土浦一高×笠間高校コラボレーションPVプロジェクト 第2日

概要

県内高校同士が得意分野を活かした連携を通じて、両校生徒が共同で映像作品を制作する企画。映像の内容は、土浦一高の SGH コース生徒が取り組んでいる課題研究の活動を対外的にPRするもの。第1回(5月 19 日)は笠間高での打合せ及び絵コンテの作成, 第2回(6月9日)は土浦でのロケ撮影会, 第3回(7月 20 日)は笠間高でのビデオ編集作業, 試写会を実施する, 3回シリーズの企画。完成映像は本校での全校発表会のほか, HP 掲載など, 今後校外向けに使用していく予定。

1 目 的

- (1) 生徒が取り組む地域資源を活かしたビジネスプランをプロモーションビデオ(PV)としてまとめ, 発信することを通し, ICT 活用スキルを身につけるとともに, 課題解決のための思考力を身につける。
- (2) 映像メディアを専門に学ぶ笠間高校メディア芸術科の生徒と共同で作業を進めることを通し, 人的ネットワーク構築術やコミュニケーション能力を身につける。

2 日時・場所

6月9日(土) 土浦一高とかすみがうら市、土浦市内各地

3 内容

生徒の課題研究の取り組みを紹介する映像撮影

[各グループの研究タイトル]

- 1 TOYs from TIREs
- 2 医療革命Ⅱ～外国人患者の日本の病院探しのサポート～
- 3 ホテルの教育での人工知能の活用
- 4 IBARAKI' s Attraction
- 5 真珠養殖を兼ねた淡水二枚貝による霞ヶ浦の水質浄化に関する基礎的研究
- 6 ネットで叶える子供たちの夢
- 7 SGH ラーメンプロジェクト
- 8 和食の可能性
- 9 Bus Revolution ～Apps which can make comfortable public transportation system～

4 参加者

- ・土浦一高 SGH 国際コース3年生 32 名, SGH 推進室教員
- ・笠間高校 メディア芸術科2・3年生 20 名程度, メディア芸術科教員

5 生徒感想

- 先輩たちがPVを制作していたのを見て、実際にどのように作っているのかと思っていたが、絵コンテを作ったり、場所のアポをとったりして、準備すべきことがたくさんあって思ったよりも大変だった。また1分間という短い時間で自分たちの研究をまとめるのはとても大変だった。撮影においては、笠間高校の皆さんのご協力の元、円滑に進行でき、感謝しきれない。
- たった1分間の映像を作るにあたって、たくさんのカットがあり、いくつもの映像を組み合わせるなどということを実感して、とても大変なのだなと思いました。また演じる側も、言葉の強弱やジェスチャーなどを工夫する必要がある、とても難しかったです。笠間高校の人と共同でPV撮影でき、とても貴重な経験になりました。
- 笠間高生のPV作りへの情熱に感銘を受けました。撮影の上手なやり方などが分かって、参考になったと感じた。これからどのように編集され、作品となるのか楽しみだと思った。映像として自分たちの取り組みを紹介するのは初めてのことなので、とても楽しみだ。
- 本当に笠間高校の方々には、自分たちの持っていない知識や技術を持っていて、尊敬できる方々だと思った。そのおかげで、自分たちだけでは絶対作り上げることが出来なかったPVを作れた。
- 初めは商品とかではなくホテルでのAIの使い方についてのPVなんて使えるのだろうかと思っていましたが、笠間高校の生徒と協力してここまでいい作品を作れたのは驚きましたし、楽しかったです。
- 撮影方法についてお互いに意見をすりあわせて歩み寄る経験が出来将来に活かせると感じた。
- 普段何気なく見ているテレビのCMを実際に作ることの難しさと奥深さを感じた。またその映像制作についての的確に助言をくれる笠間高生のスキルが素晴らしいと思った。

写真







